

新型コロナウイルスの影響で本会の活動も8月末まで全て中止となった。

会報104号は、皆さんの投稿を中心に構成させていただいた。

投稿をしていただいた方々に謝意を表したい。

9月からは活動を再開することが7月の連絡会にて決定した。私たちの活動も元に戻り、皆さんと楽しくボランティア活動が出来る日が楽しみだ。（事務局）



6月10日開花したA区の代表選手

ササユリ観察日誌

自然保護グループ 笹崎三雄

鳩吹山登山自粛が5月22日に解除されたので、ササユリの生育状況を観察した。

■ 5月25日現在の状況

【A区（北廻り方面）】 蕾をつけた個体10本を確認。蕾をつけていない幼体や一枚葉も多数育っている。2018年12月に蒔いた種が発芽している。

【B区（西山小屋方面）】 蕾をつけた個体が6本育っている。昨年も6本が開花した。開花の予想は、昨年6月3日にA区で最初に開花したので、今年も来週には開花すると思われる。



5月25日、蕾をようやくつけた

■ 6月1日現在の状況

【A区】 蕾をつけた10本のササユリは順調に成長している。週の後半には開花するだろう。

【B区】 蕾をつけた6本のササユリは順調に成長しているが、A区に比べ遅れている。



6月1日、開花目の蕾

■ 6月9日現在の状況

【A区】 4本が開花している。残りの6本は蕾だが近々開花の予測だ。

【B区】 1本が開花している。残りの5本は今週後半の開花予測。登山者の情報では開花は本日からとのこと。開花が始まったので明日も観察を行うことに。

■ 6月10日現在の状況

【A区】 昨日より開花は5本増えて合計9本が開花した。蕾は1本だけ。

【B区】 昨日より開花は4本増えて合計5本が開花した。蕾は1本だけ。A／B合わせると14本が開花した。（昨年はA/B合わせて7本の開花だった）本日の午前中が見頃で予想よりも早い。



6月10日、A区の開花状況

■ 6月23日現在の状況

保護区と登山道のササユリの花は全て終了し、現在は実（種）に移行過程にある。全ては倒れたり、盗掘されることもなく順調に生育している。また、18年秋に蒔いた種が3か所で小さな一枚葉を出している。今後は自生地のそれぞれの個体を点検していく予定だ。

くちなしの花

舟橋敏彦

毎年6月の中旬から7月初旬に「くちなしの花」が登山道で見られる。渡哲也の歌と、よい香りが印象的な花だ。実は、山梔子（さんしし）といって漢方薬の原料にもなっている。花は普通6枚の花弁からなっているが、5枚や7枚のものや、8枚のものも見かけたことがあった。



くちなしの花 5弁と6弁



くちなしの花 8弁

鳩吹山三千回登頂によせて

6月2日(火)

吉田勝子

先日6月2日に、鳩吹山山頂で大勢の方に、鳩吹山三千回登頂のお祝いを盛大に行なっていただいた。この日の事は良い記念となり、一生忘れないと思う。

ありがとうございました。

私が鳩吹山に登ることとなったきっかけは、仕事をやめ、体力はなく、体重も増え、これでは良くないと思い、散歩のつもりで登るようになったこと。最初はきつくて大変だったが、登っているうちに友達ができ、色々な山の情報を聞くことができたお陰だ。もともと自然が好きだったので、夫とこれまでに色々な山に登ってくることができた。

長い道のりだったが、こうして三千回登ることができたのも、友達がいて、登ることで健康にしてもらったお陰だと感謝している。鳩吹山バンザイ! ともの会バンザイ!! これからもよろしくお願いします。



天候にも恵まれた記念登山、夫婦で記念写真



記念登山参集した、ともの会の仲間たち

石原 20 倒木処理

6月17日(水)

環境保全グループ 吉田博行

石原 20 近くの倒木を処理した。4 月初めに発見し、市へ報告していたが、新型コロナの関係で処理できずにいた。外出自粛も緩やかになったので、ともの会会員有志 7 名で作業をした。これでより安心して石原ルート登山を楽しめそうだ。



チェーンソーを使った倒木処理の作業



鳩吹山火災の様子

鳩吹山再考

高島 勝

我々「鳩吹山ともの会」は 2003 年(平成 15 年)4 月に発足した会だが、「鳩吹山とはどんな山だろう」と改めて考えてみた。

- ①可児市の西の端にある鳩吹山。高さは 313.5m。浅間山に次いで可児市で 2 番目の高さ。
- ②鳩吹山と言う名前の由来は定かではないが、東からの姿が鳩が伏しているように見えたので鳩伏山と呼び、いつの間にか鳩吹山になったという説がある。天神山や西山、土田山などとも呼ばれていた。
- ③鳩吹山は約 2 億年前は海の底だったが、長い年月をかけて今の高さになった。
- ④鳩吹山は、チャートと言う硬い石で出来た山。チャート岩は硬質で火打石とも言われ、矢じりや火打ちに利用された。土田地区からは多くの矢じり等が出土されている。
- ⑤かつて、山の大部分に赤松や黒松が生い茂り、今から 50 年ほど前までは松茸狩りやごう搔き山として利用されていた。



松茸狩りの観光客で賑わった

- ⑥30 分ほどで登ることが出来る山だが、頂上からは可児の町や木曽川、そして遠くには御嶽山や乗鞍岳、白山連峰、日本アルプスの山々を一望することが出来る。
- ⑦鳩吹山には、大脇、カタクリ、真禅寺、西山、石原の 5 か所の登山口がある。登山ルートによって距離や難易度が違うので、初心者からベテラン登山者まで多くの人々が楽しめる山として人気が高い。
- ⑧自然豊かな鳩吹山ではたくさんの種類の植物を観察したり、バードウォッチングを楽しむこともできる。

- ⑨1987 年(昭和 62 年)4 月に鳩吹山で山林火災が発生し、三日間燃え続け、黒焦げになった。2 年をかけて大規模な植林をし、現在は緑豊かな山になった。

- ⑩可児川下流域公園の先にある大脇湊はかつて、日本ライン下りの発着場だった。



宝塚歌劇団一行がライン下りを楽しむ、大脇湊

あの頃欲しかった装置

鬼木博文

まずはスマホの画面(以下の写真)をご覧ください。



下端の自宅から真禅寺の横を通り、鳩吹山山頂までのある日の記録だ。このような装置、私が全国の山を登っていた 50 代 60 代の頃は値段が高く到底、手が出なかった。ところが、今はスマホの無料アプリで実現している。

登山中、自分の現在が地図上のどこかを知りたくなる。また、道に迷った場合、自分の位置情報が大いに役立ったはず。“はず”とは、本当に必要としたときには、手元に無かった。山中では道幅が狭く、往路・復路の判別はできないが、画面にある可児“市”という大きな漢字の右肩周辺に、直角に回った往路と広場を斜めに歩いた復路の違いがはっきり表現されている。なお、当図では標高が 313.3m だが、現地の石柱には 313.5m となっている。

なぜだろう。